

あさくち 議会だより

No.52

令和4年2月1日発行

令和3年 12月定例会

- ・ 決算認定 ②
- ・ 補正予算 ④
- ・ 主な議案 ⑤
- ・ 委員会レポート ⑥
- ・ 市政を問う！一般質問 ⑧

12月定例会

12月定例会は、11月30日から12月16日までの17日間の会期で行われました。

令和2年度 一般会計・特別会計・ 企業会計決算を認定!!

閉会中の継続審査となっていた令和2年度決算の認定議案10件については、各常任委員会で慎重に審査し、本会議ですべて認定しました。

一般会計の実質収支額10億9,303万円のうち、5億5,000万円を財政調整基金へ繰入れています。

決算額

(金額は1万円未満を切り捨てて表記しています)

区 分		歳 入	歳 出
一 般 会 計		196億9,405万円	185億6,483万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	43億3,872万円	37億5,796万円
	後 期 高 齢 者 医 療	5億9,354万円	5億9,353万円
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	351万円	121万円
	介 護 保 険	40億8,539万円	38億2,247万円
	畑地かんがい給水事業	1,807万円	1,562万円
	益 坂 財 産 区	548万円	433万円
	工 業 団 地 開 発 事 業	8,268万円	8,268万円

企業会計

区 分		収 入	支 出
水 道 事 業 会 計	収 益 的	7億195万円	7億3,708万円
	資 本 的	1億9,124万円	2億2,611万円
下 水 道 事 業 会 計	収 益 的	14億8,687万円	13億9,269万円
	資 本 的	7億1,317万円	12億2,264万円

※水道事業会計の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしています。

※下水道事業会計の不足額は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんしています。

決算審査の 質疑・意見（抜粋）

一般会計

Q 地方交付税について、合併10年から算定替えが行われ、5年間減額が繰り返されてきたが、変更前との比較は。また今後は今のまま推移するのか、元に戻るのか。

A 平成27年度実績と比較すると、約8.7億円の減。今のまま推移していく。

Q 西部地区養護老人ホーム敬愛園負担金について、金額が1683万5000円あるが、今後の方向性について決まっているのか。

A 養護老人ホーム敬愛園は昭和40年代に建設され、3、4年後には耐用年数が到来する。このまま続いていくのか、解散するのか、今後運営について議論がなされ、方向性が決まり次第報告したい。

養護老人ホームとは、経済的に困窮している高齢者を養護し、社会復帰の支援を行う施設

Q 金光公民館・中央公民館の施設管理について、個人契約であったものを、使用がある場合のみ来てもらうように変更したのか。

A 昨年度から夜間管理について、通年での直接雇用を止め、業者に委託して、派遣を依頼することにした。

Q 金光と鴨方両公民館で利用がある日に1人ずつ来てもらう。夕方5時から10時の約5時間の派遣で年間426万7163円は高過ぎないか。

A 委託契約を出す時点では、コロナを想定しておらず通常で契約していた。

介護保険特別会計

Q 家族介護用品給付費というのがあるが、どういものが対象か。

A 要介護4、5の方が対象で、紙おむつや尿取りパッドなどにかかった経費として年間10万円を上限に給付をするもの。

要介護4、5とは、介護なしには日常生活が困難な方



Q 成年後見制度の利用助成金が昨年度より100万円も少ないが、何人ぐらい利用されたか。

A 後見人への報酬の助成については、昨年度は7件である。

成年後見制度とは、判断能力の十分な方を法的に保護し、支援する制度

畑地かんがい給水事業特別会計

Q 畑地かんがい給水施設を利用した農業を計画していると思うが、今はどういう状態か。どこまで進んでいるのか。



給水施設を利用した寄島のレモン畑

A アボカドについては、気温が低いことで収穫量が少ないという問題がある。レモンについては、瀬戸内レモンというようなブランドを目指して、農業専門の地域おこし協力隊員が、耕作していない土地を借りて開墾している。作付け面積は約1町（1万㎡）で、200本程度のレモンの苗木を植えている。

工業団地開発事業特別会計

Q 工業団地開発で1年間に何がどう進んだのか。また今後の見通しは。

A 令和2年度は地権者の方へ同意を取るという作業を行っていたが、コロナの影響で3密を警戒される傾向から接触ができなかった。現在も同意を得るべく努力している。

水道事業会計

Q 令和2年度の決算を見て、実質的な赤字ではないのか。水道事業会計の見通しは。

A なかなか苦しい経営状況だと考えている。将来的な値上げも含めて、現状の分析をした中で今後の経営というものを考えなければならぬ。

子育て世帯臨時特別給付金の早期対応へ 10万円すべてを現金給付に!!

合計8億6429万円を増額補正し
令和3年度一般会計予算の総額は160億253万円

補正予算

歳出の主なもの

区分	事業名	事業の概要	補正額
総務費	ふるさと納税事業	市の更なる発展のため、寄附を広く募集し、歳入確保のほか、地域の特産品や観光施設をPRする	1,295万円
民生費	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	感染症の長期化により影響を受けている子育て世帯を支援するため、対象となる子ども1人あたり10万円の現金給付を行う	4億5,632万円
	保育所等整備事業補助金	0歳児から2歳児までの保育施設利用定員の拡大を図るため、法人が行う小規模保育事業所の整備に要する経費に対し、補助金を交付する	5,571万円
衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種事業	新型コロナウイルス感染症対策としてワクチンの追加接種を行う	5,529万円
土木費	公共施設 災害対策事業	災害対策事業として、河川への排水ポンプの設置及び閉塞した暗渠水路 <small>へいそく</small> の改修を行う	3,000万円
教育費	学校給食配送車購入事業	安全でより効率的な給食配送を行うため、学校給食配送車1台を購入する	770万円

※1万円未満を切り捨てて表記しています。

歳入の主なものは、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金4億5,520万円、保育所等整備交付金4,952万円、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金3,731万円など。

主な議案

契約

○工事請負契約の変更

【原案可決】

デジタル移動系防災行政無線整備工事について、契約金額を988万6800円増額して1億9801万1000円とし、また、工期を1か月延長して令和4年2月28日までとするもの。

人事

○副市長の選任同意

【同意】

副市長に松田勝久氏を選任することに同意しました。任期は令和4年1月1日から令和7年12月31日まで。



議案に対する賛否

本定例会で審議した議案に対する各議員の賛否は次のとおりです。

【○】賛成、「×」賛成でない、「-」不参加、「欠」欠席 ※議長は採決に加わりません。

議案名	議員名	井上邦男 (議長)	香取良勝	大西恒夫	青木光朗	藤澤健	中西美治	桑野和夫	竹本幸久	佐藤正人	伊澤誠	藤井立子	石井由紀子	横山達士	山下周吾	沖原有美		
認定第1号 令和2年度一般会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第2号 令和2年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第3号 令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第4号 令和2年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第5号 令和2年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第6号 令和2年度畑地かんがい給水事業特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第7号 令和2年度益坂財産区特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第8号 令和2年度工業団地開発事業特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第9号 令和2年度水道事業会計積立金の処分及び決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決及び認定
認定第10号 令和2年度下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決及び認定
承認第5号 専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
同意第17号 副市長の選任同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第55号 過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第56号 岡山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び岡山県市町村総合事務組合規約の一部変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第57号 工事請負契約の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第58号 令和3年度一般会計補正予算(第7号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第59号 令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第60号 令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第61号 令和3年度介護保険特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第62号 令和3年度畑地かんがい給水事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第63号 令和3年度工業団地開発事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号 令和3年度水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第65号 令和3年度下水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第66号 過疎地域持続的発展市町村計画の策定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第67号 令和3年度一般会計補正予算(第8号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第68号 令和3年度一般会計補正予算(第9号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

～常任委員会、特別委員会の審査内容～

総務教文

常任委員会

委員長

中西 美治

副委員長

横山 達士

委員

石井由紀子

藤井 立子

桑野 和夫

香取 良勝

○12月定例会で付託された議案の審査（12月9日）

工事請負契約の変更

説明 デジタル移動系防災行政無線整備工事の契約金1億8812

万4200円を988万6800円増額。工期を1か月延長し令和4年2月28日までとするもの。

Q 入札後に金額が上がるのはなぜか。きちっと精査しているのか。

A 当初は移動系のみ計画だったが、9月定例会において同報系の整備に係る補正予算が議決されたことから、同報系無線設備の整備を見据えた内容に見直したもの。

審査結果 原案のとおり可決すべきものと決定した。

一般会計補正予算（所管分）

説明 総務費として、ふるさと納税が増えていることから、返礼品の不足見込み額を計上。内容は、クレジット決済やネット上のサイ

ト事務の手数料、受付や返礼品発送の業務委託料等である。教育費として、現在学校給食のコンテナ車が3台と少なく、トブルの時には旧時代の配送車を使用してきた。しかし、出入りの作業中けがをする恐れや、配送に遅れが生じることも想定されることから、1台購入に770万円を計上。

また、小規模型保育事業費に5571万7000円を計上。

Q 小規模保育事業の工事の進捗状況は。

A 令和4年3月上旬から中旬にかけて完成と聞いている。

審査結果 歳入・歳出の説明を受け、委員会では一般会計補正予算（所管分）は可決すべきものと決定した。

民生

常任委員会

委員長

山下 周吾

副委員長

沖原 有美

委員

佐藤 正人

井上 邦男

○12月定例会で付託された議案の審査（12月10日）

一般会計補正予算（所管分）

説明 職員の時間外勤務手当や戸籍事務へのマイナンバー制度導入に対する補助金。また、外国人住民登録等の事務経費に対する補助金の精算分を計上。

不妊治療支援事業の負担金や里帰り妊婦健診負担金は今年度の実績による増額補正。

全額国が負担する新型コロナウイルスルスワクチンの3回目接種に係る事業費や子育て世帯への臨時特別給付金として児童1人あたり10万円（4552人の見込み）を計上。

Q 時間外勤務が増えているが、任用職員を入れてはどうか。

A 今の仕事の状況をふまえて、取り入れるべきところ

Q 不妊治療の昨年度と今年度は取り入れていきたい。の実績は。

A 昨年度は28件で今年度の現時点では18件。今年度分は25件を見込んでいる。

Q 子育て世帯への臨時特別給付金の支払い予定は。

A 児童手当受給者には12月28日、高校生は口座番号の申請書の確認が取れ次第、1月中の給付予定。新生児は手続きをして随時給付。

審査結果 歳入・歳出の説明を受け、委員会では一般会計補正予算（所管分）は可決すべきものと決定した。



ワクチン3回目接種が順次開始（写真はイメージ）

産業建設

常任委員会

- 委員長 伊澤 誠
 副委員長 大西 恒夫
 委員 竹本 幸久
 藤澤 健
 青木 光朗

○12月定例会で付託された議案の審査（12月13日）

一般会計補正予算（所管分）

説明 河川総務費の補正額3000万円は、金光町須恵の龍王川と小田川を結ぶ暗渠管が土砂により閉塞しており、その改修工事、及び県から借用する口径300ミリのポンプ1基を龍王川へ設置し、里見川へ排水する工事費用。6月の梅雨までには完成させたい。



審査結果

歳入・歳出の説明を受け、委員会では一般会計補正予算（所管分）は可決すべきものと決定した。

大型土のうの備蓄について

報告 豪雨災害などに備える大型土のう（1トン土のう）を備蓄しておくことを県と協議している。現在は鴨方の浄化センターと金光の浄化センターの空いた土地に100個ずつ程度備蓄する方向で調整している。土のうは県が作成し、管理は市が行う。災害発生時には県と市が備蓄した大型土のうを搬出し緊急工事等に使用する。

Q

小さい河川の氾濫等でも50個くらいは使うことになる。浅口市に200個は少な過ぎると思うので、備蓄量の検討を。

A

近隣の笠岡、矢掛等にも備蓄される予定であり、そこからの運搬も可能であると県から聞いている。

財政

特別委員会

- 委員長 香取 良勝
 副委員長 中西 美治
 委員 山下 周吾
 伊澤 誠
 佐藤 正人
 井上 邦男

○事業に関する調査（10月29日）

①前回の審査を踏まえ、金光病院に対する地域総合整備資金貸付について、地域総合整備財団に照会した資金の貸付けに民間金融機関の連帯保証が必要な理由及び地方債の利子の負担について説明を受けた。執行部からは、ふるさと財団からの回答として「貸付先（金光病院）に不測の事態が発生した場合、貸付団体（浅口市）に行財政運営への影響を防ぐため」また、「ふるさと財団の役割から地方債の利子の負担はできない」とのこと。

委員からは、なぜ金光病院だけなのか再度精査するよう求める意見があった。

②大谷人づくり・まちづくり研修事業補助金について、令和元年度、2年度の実績および令和3年度予算について説明を受けた。住民監査請求に係る監査の

結果では、ちようちん設置経費の21万8130円を市に返還を求めている。市としては、返金を求めない結論に至っているとのこと。また、予算の110万円は基金からの充当であり、地区の活性化と住民福祉の目的から問題ないとのこと。

③共同墓地整備事業補助金について、令和2年度に金光地頭下小三宅自治組合が実施した事業の説明を受けた。委員からは、「一本の雑木伐採に19万円かかっているが、なぜ複数の業者から見積もりを取らないのか」との意見があった。執行部からは、周囲に危険を伴う状況であり、それに対して市が半額（9万5000円）補助したものである。地元の実業であり、見積もりに関しても地元が判断するものと考えている。



12月定例会録画配信

本会議の録画映像を「YouTube」で配信します。
お好きな時にスマートフォンやタブレット等で視聴できます。

内容	QRコード
開会 会期の決定 委員長報告・質疑 決算認定 議案上程・提案説明	
一般質問	
議案に対する質疑 委員会付託	
委員長報告・質疑 議案の討論・採決 閉会	

QRコードから一般質問動画を視聴

スマートフォンやタブレット等でQRコードを読み込んでください。



12月定例会では、10人の議員が一般質問で市政を質しました。

質問者	質問項目
香取 良勝	○水道水の盗水の被害について ○公売財産について
桑野 和夫	○新型コロナウイルス感染症対策について ○米価下落への対応について
藤澤 健	○新聞やテレビの報道について
山下 周吾	○デジタル技術を利用して改善される職員の働き方と市民サービス向上への取組みについて ○市内産業の発展について ○浅口市のまちづくりについて
大西 恒夫	○市長の政治姿勢について ○水道不正使用の件について ○都市計画道路 川手鴻之巣線の見直しは

質問者	質問項目
沖原 有美	○海ごみ問題について ○パートナーシップ宣誓制度について
石井由紀子	○浅口市の交通事情とその対策について ○浅口市長・市議会議員選挙の投票率について
横山 達士	○不登校の対策について ○ふれあい号について
伊澤 誠	○都市計画道路 川手鴻之巣線について ○消防団の今後について
中西 美治	○市長の去就について ○新型コロナウイルス対策について ○安全・安心の確保について ○DX（デジタルトランスフォーメーション）について

寄支所
： 寄島総合支所長

金支所
： 金光総合支所長

会計
： 会計管理者

上下水
： 上下水道部長

産建
： 産業建設部長

健福
： 健康福祉部長

生環
： 生活環境部長

教育次
： 教育次長

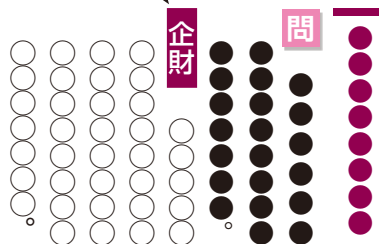
企財
： 企画財政部長

教育長
： 教育長

副市長
： 副市長

市長
： 市長

答弁者



注釈



香取 良勝



水道水の盗水の被害について

問 市長が盗水で被害届を玉島警察署に出したことで山陽新聞、笠岡放送、NHK、岡山放送、せとうち放送、フジテレビは浅口市議会議員香取良勝という名前を出して大きく報道した。山陽新聞には窃盗として告訴すると掲載されている。私がこの件について知ったのは、NHKが私の家へ来てからだ。なぜ最初に本人に説明を求めなかったのか。

市長 盗まれたという事実があり、誰が行ったか我々は特定できないから、警察に被害届を出した。現地確認時に御家族の方から議員本人とも相談していると聞いていた。

問 盗水したと言うが、水道料と電気代とガス代は入居者が払うようになっていて。私は一円も取っていない。なぜそうだったのか調査、精査しないといけないのでは。市の職務怠慢ではないか。警察が告訴を受理しているなら電話がかかってくるが未だにない。人を陥れるような事をするな。

市長 手続もなく無断で接続された不正行為の把握は非常に難しい。誰が指示し、誰がしたのかを今調べている段階。

問 報道機関に出した資料は部長が書いたのか、それとも市長が部長に書かせたのか。

市長 顧問弁護士などと相談し、市が組織として作成した。

問 水道料金の未納総額はいくらか。香取ビルもなぜ給水停止にしないのか。

上下水 令和3年11月末で約369万円、過年度分が約2726万円。給水停止通知は17件。この度の盗水被害とは全く別物。

公売財産について

問 税金を払ってない人に対して、財産を差し押さえて競売にかけている。なぜ本当に困った市民から取るのか。

市長 納税は市民の義務。しっかりと説明をしながら物事を進めている。



桑野 和夫



新型コロナウイルス感染症対策について

問 現在の感染状況とワクチンの接種状況は。

副市長 これまでに114名の陽性者が確認されたが、11月1日以降、新たな陽性者は確認されていない。12月1日現在、2回目接種を終えた方は全体の85%、65歳以上の接種率は92・7%、12〜64歳の接種率は79・8%。

浅口医師会の全面的な協力のもと、接種率の向上に努めてきた。ワクチン接種は順調に進んでいると考えている。

問 3回目接種、5〜11歳の接種と無料のPCR検査実施の予定は。

副市長 2回目接種からおおむね8か月を経過した18歳以上の方を対象に行われる予定で、今後は毎月25日までに次の月の対象者に接種券を届けるス

ケジュールとなっている。2月から高齢者が対象となり、一般の方の接種は4月以降となる予定。個別接種を主として実施。対象者が多くなくなる時期にはワクチン供給量を見ながら集団接種の実施も検討する。

5〜11歳については、早ければ2月から開始との情報を得ている。市では現在、対象人数の把握や、接種医療機関の確認及び調整を行っている。学校や園で集団接種を行うことは考えていない。

無料のPCR検査実施については財政的に市単独で行うことは困難。国では現在、ワクチン接種を受けられない方等への無料検査実施を検討している。国の動向を注視し、対応していく。

米価下落への対応について

問 米価下落への支援は。

市長 市内への影響は限定的で対象は限られている。他のコロナ対策の制度で補完できているが、今後、下落傾向が続くようであれば対策も考えていく。



藤澤 健



新聞やテレビの報道について

問 水道被害の内容について、新聞やテレビの報道を見た多くの市民から問い合わせがあった。市長と警察の間で何が話し合われたのか。またビルの所有者は誰か。

上下水 金光町占見新田にある香取第2ビルに、市の水道メーター未設置で水道管を接続していた。平成17年8月頃から約16年にわたり水道水を不正に使用していた疑いがあり、玉島警察署に令和3年9月21日に被害届を提出した。

市長 ビルの登記上の所有者は香取良勝氏である。

問 なぜ今まで発見できなかったのか。

上下水 第2ビルはもともと第1ビルと一体で水道を使用していたが、無断で切替えを行っていたため発見することができなかった。

問 被害の確認はどのように行ったのか。

上下水 ビルの関係者立ち会いのもと、現地を掘削して給水管に直接接続されていたものを確認した。

問 なぜ今頃確認しようと考えたのか。

上下水 第2ビルの入居者から水道の開始届が提出され、開栓の手続きのために職員が現地を確認したが、市の水道メーターが確認できなかった。

問 被害の始まりの根拠は。また被害金額はいくらか。

上下水 もともと第2ビルは第1ビルから水が送られており、過去の使用量により平成17年8月頃から大幅な減少が確認できたことで、この時期に始まったと考えている。被害金額は第1ビルの使用水量を基に算出し、約106万円。

問 今後どのような方法で解決しようとしているのか。

市長 警察が被害届を受理し、現在捜査中である。今後は捜査状況を見守りながら厳正に対処し、請求も視野に入れた対応を考えている。



山下 周吾



デジタル技術を利用して改善される職員の働き方と市民サービス向上への取組みについて

問 市職員や市民参加の協議会でのオンライン会議の状況は。大型モニターを設置しては。

企財 ウェブ会議用ソフトなどを調達。インターネット系有線LANも整備、活用の周知を図る。

市長 DX(デジタルトランスフォーメーション)を進めるため、デジタル推進係を総務課に設置。大型モニターはデジタル化の中で検討。

市内産業の発展について

問 小規模企業対策資金保証融資制度(浅口市独自)とは。

産建 市内で1年以上事業を営み、市税を完納している小規模事業者が対象。融資限度額500万円、融資期間5年以内、融資利率1.8%で県信用

保証協会が定める保証料率において融資が受けられるもの。

問 近隣市町の制度との比較と限度額を上げる考えは。

産建 倉敷市や笠岡市では限度額1000万円、融資期間10年以内となっている。

市長 皆様の頑張りの後押しするため限度額1000万円、期間10年に拡大し、新年度より新たな運用を図る。

浅口市のまちづくりについて

問 県の浅口広域都市計画区域マスタープランに合わせて立地適正化計画を策定しては。

産建 医療、福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地するコンパクトなまちづくりを推進するための制度。市では各種都市機能が集積する鴨方・金光駅周辺、寄島支所周辺を主要拠点と位置づけ、道路網や公共交通ネットワークが連携していくまちづくりを目指している。県内では6市が策定しており、本市も立地適正化計画を研究していく。

市長 寄島支所の利便性は意見を聞きながら、計画していく。



大西 恒夫



市長の政治姿勢について

問 栗山康彦氏の名で「大西恒夫議員が配布したチラシについて」という文書を配布している。その中で『笠岡放送の議会放映を止めたのは私ではありません』と記載されているが、見解を伺う。

市長 私個人が、今年3月議会での大西議員の一般質問における間違った内容について放送中止を申入れたもので、議会放送全体に対するものではない。

問 私のチラシが「根本的に間違っています」と明記しているが、どの部分なのか説明いただきたい。なぜ、宅地を雑種地に変えたのか。

市長 チラシの表題に「私から市長の土地への質問」となっているが、当該土地は当時父の所有であり、国土調査で現況に応じた地目に当時の鴨方

町が変更したものの。課税においても何ら問題はないと考える。

都市計画道路 川手鴻之巣線の見通しは

問 過去にも何度か質問したが、その後の経過と今後の見通しはどうか。合併特例債を使ってもやるべきと考える。

産建 当事業については、県への国道2号より北側の整備について毎年提出している事業要望調査に記載して、継続的に要望を行っている。現在、玉島笠岡道路の整備が里庄町方面に向けて進んでおり、バイパスの六条院西インターへ接続する側道、県道の六条院東里庄線の施工など関連道路の整備に優先順位をつけ進めているため、現段階では具体的な回答は得られていない。

市長 インフラ整備なくして発展はない。私も同じ考えである。ただ、この事業には莫大な費用がかかり、特例債も使えないため市単独では無理がある。引き続き県へは要望していきたい。



沖原 有美



海ごみ問題について

問 寄島の海ごみ対策はどのようになっているか。

生還 6月から3月の間、月に1回海ごみ回収作業を行い、仕分けや処理をしている。毎月実施している不法投棄。パトロールの際には、河川敷に放置された生活ごみの回収に努め、海ごみの発生を減らすことも実施。漁業者は操業時に網に入るごみを回収し、専用ごみステーションに入れていく。また、ボランティア団体や地域住民、小・中学校の児童・生徒にも協力をいただいている。

問 プラスチックごみの廃棄量の現状とマイクロプラスチックごみの実態は。

生環 海ごみの種類別調査はしておらず把握できていない。寄島海域で回収した処理困難ごみは、平成30年度1.3トン、

令和元年度1.3トン、令和2年度4トン。5ミリ以下のマイクロプラスチックごみの現地状況は、ビニール袋の切れ端、プラスチック用品や容器の破片を確認。プラスチック肥料殻は確認していない。

問 市民を対象にプラスチックごみの海洋汚染について講演会を開催しては。

生還 市民に対する啓発活動は継続して実施する必要があると考え、講演会を含め検討していく。

パートナリシップ宣誓制度について

問 多様性を尊重することができよう、パートナリシップ宣誓制度を導入しては。

生環 制度導入については情報収集をしてきた。できるだけ婚姻における配偶者同等の権利義務を得られるよう、制度導入に向けて対応していく。

市長 近年、性の多様化についての認識が浸透しつつある中で導入する自治体が増えている。今年度から準備を進めている。



石井由紀子



浅口市の交通事情とその対策について

問 安心・安全なまちづくりのための施策は。

産建 歩道が設置され車道と分離されている道路は歩行者が安心して通行できると考えており、道路の新設や大規模改良工事の際に歩道の必要性を含めて検討している。

舗装の老朽化や陥没等の損傷箇所が発見された道路は修繕。道路が狭く車がすれ違えないような箇所は改良要望を受け、拡幅や待避所を設けるなどの対策を行っている。

全ての要望に沿うのは難しい状況であるため、緊急性を考慮して対応を行っている。

企財 市内で重大な事故が発生した場合、早急に玉島警察署や道路管理の担当など関係部局が現地で危険防止、改善に向けての協議を行い、注意

看板の設置や路面標示の整備などの対策を行っている。
正しいマナーの普及を図り、交通事故防止の徹底を進めていく。

市長 交通弱者が安心して通行できるように整備し、また交通規制などについて警察と協議しながら交通事故防止に力を入れていく。道路の異状については速やかに応急措置をし、道路修繕を含めた維持管理に努めていく。

浅口市長・市議会議員選挙の投票率について

問 投票率を上げる施策は。

企財 選挙権年齢が18歳となり、初めての選挙となる選挙人全員に対しはがきを送付し啓発を行った。

また、前回の衆院選から市内のどの期日前投票所でも投票可能としている。

市内高校3年生に冊子を、小学校全生徒に啓発チラシを配布。選挙管理委員会の事務局職員が学校における主催者教育を支援する取組みを考えている。



横山 達士



不登校の対策について

問 不登校児童・生徒に対しての取組みは。

教育次 市内各校に登校支援員を配置し、児童・生徒への登校支援、保護者への相談支援などがスムーズに行えるようにしている。教室へ入りにくい場合は、他の児童・生徒と共に学びたい気持ちを持たせることを念頭に相談支援を行っている。

問 不登校児童・生徒を生み出さない取組みは。

教育長 相談しやすい環境づくり、登校支援員の効果的活用、児童・生徒の心理的ストレスを早めに把握するなど、学校が安全・安心で落ち着いて学べる場になるよう努めていく。

問 不登校の要因は複雑で多岐にわたっている。いじめ防止相談ツール「マモレポ」を導入し、子どもたちのヘルプサ

イン、悩み、困りごとを可視化しては。

市長 学校現場では全ての教職員が不登校の傾向を早期に発見し対応するよう努めている。市は現場をサポートし、福祉部局にも連携を図るよう指示をしている。マモレポを含め検討していきたい。

ふれあい号について

問 市民が最も望んでいるのは利便性である。担当職員が利用の少ない地域に行き、聞き取り調査をしたことはあるか。

企財 具体的な場所やルートが要望があった場合は職員が確認し、内容によっては見直しをした。ただ、漠然としたご意見の場合は確認が難しい。

問 ふれあい号は改善しながら維持しつつ、オンデマンドバスの運行をしてはどうか。

市長 ふれあい号は増便、補助ステップの追加、ダイヤやバス停の見直しなどを実施し利便性の向上に努めてきた。社会情勢の変化を考慮しながら市民にとって最適な交通サービスの検討を進めていく。



伊澤 誠



都市計画道路 川手鴻之巢線について

問 平成20年に計画されたが、国道2号より北側の現状は。

産建 岡山県に対し、毎年提出している事業要望書により継続して要望している。

問 川手鴻之巢線は浅口市のマスタープランにも生活連携軸として明記され、市の発展には重要な路線であり、今後計画している工業団地にも隣接する大切な道である。

また、寄島地域の振興、国道2号バイパスと山陽自動車道を結ぶ背骨となる道。どこが事業主体になるか、県と協議すべき。

産建 現在、事業主体、着手時期について具体的に決まっていない。市の財政的負担も踏まえ、引き続き県に要望していく。

問 今浅口市は、少子高齢化、人口減少、玉島笠岡道路の整備が進み、交通の変化、経済情勢、市の財政など状況が変化するなか、市長の見解は。

市長 川手鴻之巢線は、将来的な市の発展に必要な都市計画道路である。この区間の整備には鉄道、河川との交差もあり莫大な費用が必要。引き続き強く県に要望していく。

消防団員の今後について

問 消防庁からの要請を受け、団員報酬や出勤手当の見直しなど、団員の処遇改善や確保対策の検討会を行ったか。

企財 消防庁長官からの通知によると、処遇改善は令和4年4月1日から適用することとされており、現在、この通知に基づき消防団幹部と協議を行っている。団員報酬は条例等の関係上、3月議会に提示できるように調整している。

市長 団員の処遇改善は土気高揚だけでなく、団員確保にもつながると認識している。消防団幹部と協議し、消防団の充実強化に取組んでいく。



中西 美治



新型コロナウイルス対策について

問 第6波への対策とオミクロン株への対応は。

健福 ワクチンの3回目接種が12月1日から医療従事者を対象に始まっている。多くの市民が対象となる2月に向けて円滑に接種が行えるよう調整を重ねている。

第6波対策は希望者が3回目接種を確実にできる体制整備と、これまでどおりの行動継続を啓発していく。

市長 オミクロン株は不明な部分が多く不安が広がっている。変異株の特徴は今後明確になると思うが、継続してきた基本的な対策を確実に行うことが大切であると考える。

問 コロナ禍で打撃を受けた方への経済対策、保育士・看護師などの賃上げは。

企財 子育て世帯への臨時特

別給付金（18歳以下の子どもに10万円）、住民税非課税世帯への給付金、新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金、学生支援緊急給付金などが掲げられている。

安全・安心の確保について

問 大規模災害に備える防災・減災強化についての考えは。

市長 ハード面は排水ポンプ設置、河川の浚渫、公共施設の耐震化を進める。災害時の被害を最小限に抑える減災の考えを基本に、自主防災組織をはじめとする地域の人づくりや組織の活動支援リーダーの育成などに取組む。

DX（デジタルトランスフォーメーション）について

問 デジタル推進係についての自身は。

市長 DXは紙の情報をデータ化するだけでなく、デジタル技術が社会に浸透し人々の生活がより良いものへ変革することと考える。係を課に昇進させ、自治体DXを推進する。市民目線のデジタル市役所の実現を目指したい。

インターネット検索からも動画を視聴できます！

浅口市議会では多くの方に議会の様子をお伝えするため、録画映像をユーチューブで配信しています。再生方法は次のとおりです。

- ①インターネット検索サイトに「浅口市議会 ユーチューブ」と入力し、検索
- ②一番上に表示される「浅口市議会-YouTube」をクリック
- ③ご覧になりたい画像をクリック

(右端の > をクリックすると選択できる画像が増えます)



声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音訳しています。

必要な方は社会福祉協議会へ
☎0865・44・7744

傍聴へお越しく下さい

傍聴は、議会に触れることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽にお越しく下さい。

(本庁舎3階)

なお、次回の3月定例会は、2月29日9時30分から開会予定です。会議中、傍聴者はご自由に出入りできますので、まず受付を済ませてお入りください。

会議の日程は、2月中旬に議会運営委員会会で決定され、ホームページで公表します。



浅口市議会 検索

表紙写真

表紙の写真は建設中の国道2号バイパス玉島笠岡道路を金光町佐方から西へ向けて撮影したものです。

玉島笠岡道路は整備区間を倉敷市玉島阿賀崎から笠岡市西大島新田とする、延長13・9キロメートルの道路です。
令和7年度中の開通に向けて工事が進んでいます。



六条院西から東を望む風景

広報特別委員会

委員長	伊澤 誠
副委員長	佐藤 正人
委員	沖原 有美
	石井由紀子
	藤井 山下
	立子 周吾
	中西 美治

